

信州 山のプロフェッショナル



©2005 石塚真一小学館

長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則1週間ごとにお伝えしている「島崎三步の山岳通信」。その特別連載として、毎年発行する「登山SafetyBook」に登場！

信州の山で多方面に活躍する“プロフェッショナル”の方々の声を、皆様にお届けします！（聞き手：編集部）

Vol.13 “安全登山支援”のプロフェッショナル

チーム安全登山

「チーム安全登山」はやまきふ共済会、ヤマレコ、ヤマテンの3社が運営する、山岳業界を応援し安全登山をみんなで行うプロジェクトです。チーム安全登山のメンバーは会員制で、計画書の提出をはじめとした山岳遭難を防止する取り組みに参加し、そのための学びを継続して、安全登山に必要な情報やサービスを受けられます。



一般社団法人山岳寄付基金 やまきふ共済会
代表理事 井関 純二さん



<プロフィール>

千葉県出身。大学卒業後に保険会社勤務等を経て2014年にやまきふ共済会を設立。趣味は登山のトレーニングのために始めたランニング。やまきふ共済会の他に、山岳ガイドや登山者向けの各種保険を扱う(株)インスクエアコンサルティング代表取締役で社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー。



株式会社ヤマレコ 代表取締役 的場 一峰さん
<プロフィール>



千葉県出身。大学院卒業後、某研究所でネットワーク技術の研究開発を行う傍ら、2005年に山のコミュニティサイト「ヤマレコ」を開設。2013年に株式会社ヤマレコを創業。現在は代表兼エンジニアとして、Webサイトの開発・運用に加え、スマートフォンやスマートウォッチで利用できる登山地図アプリ「ヤマレコ」の開発・運用も行っている。



株式会社ヤマテン 代表取締役 猪熊 隆之さん
<プロフィール>



新潟県出身。気象予報士。中央大学山岳部監督。国立登山研修所専門調査委員。茅野市縄文ふるさと大使。チョムカンリ (7,048m)、エベレスト西稜、剣岳北方稜線冬季全山縦走などの登山歴。「世界の果てまでイッテQ」登山隊や、三浦雄一郎氏、竹内洋岳氏、NHK「グレートサミッツ」、「にっぽん百名山」など登山家や撮影隊に気象情報を提供。著書に山の観天望気、山岳気象大全 (いずれも山と溪谷社) など。

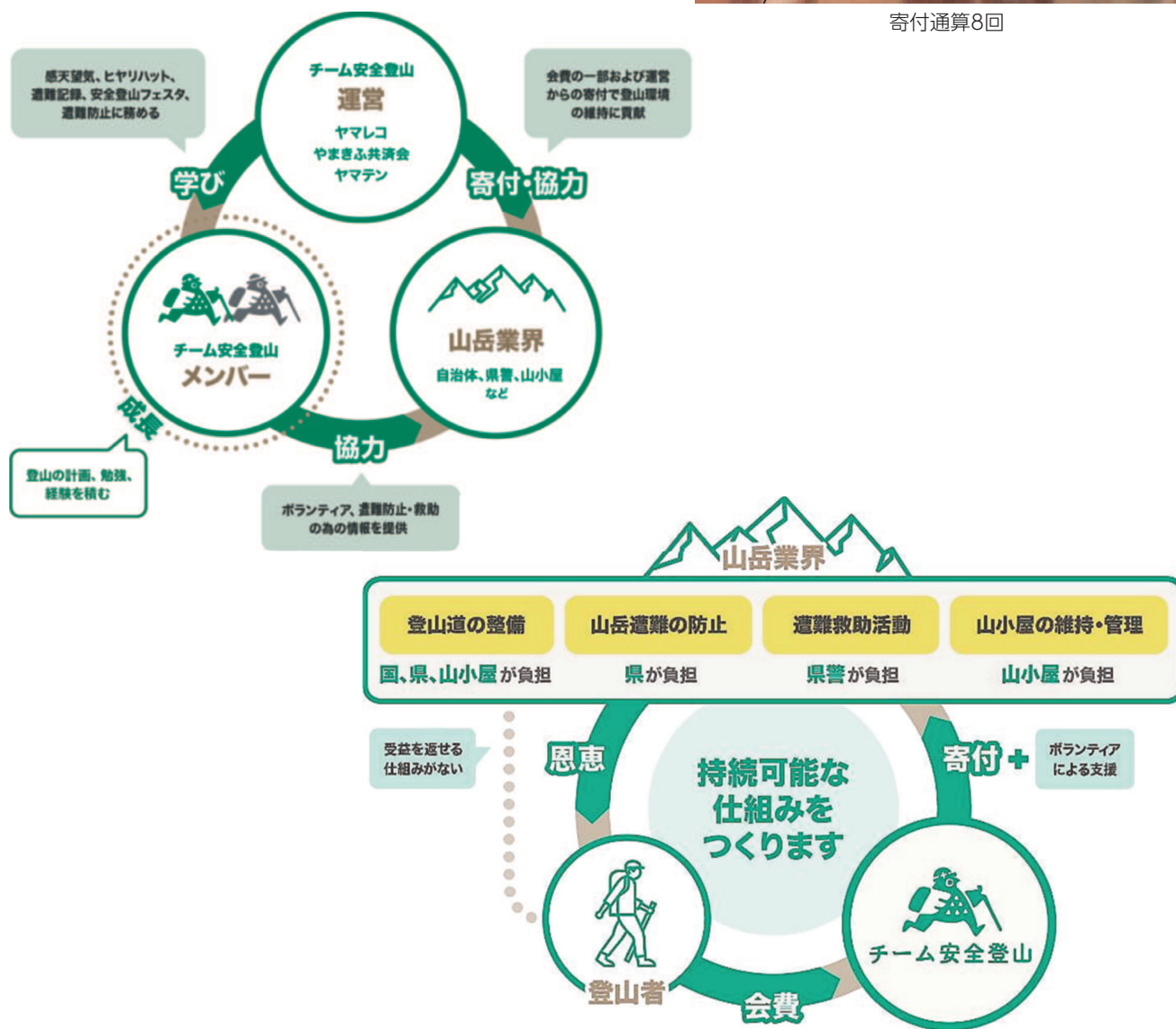


一チーム安全登山プロジェクト全体での活動内容をお聞かせください。

(チーム安全登山) チーム安全登山は、会員メンバーが安全に登山をし、成長するためのサービスを提供しています。また持続可能な山岳業界を目指すための寄付や支援などの活動も行っています。



寄付通算8回



「登山計画書提出の啓発、寄付を通じて安全登山を楽しめる環境作り」(井関)
「安全登山のためには、登山前にリスクを想定することが重要」(猪熊)

一安全登山推進のための運営会社個々での取り組みと会員メンバーや山岳業界からの反響をお聞かせください。

(井関) 山岳保険としてのしっかりとした補償はもちろん、登山計画書提出を啓発する仕組みや、登山道整備等への寄付を通じて、安全登山を楽しめる環境作りの活動をしています。多くの登山者に賛同いただき会員数も増加中です。

(**的場**) 遭難を防止する取り組みとして、登山者同士で最新の山の情報を共有したり、オンラインで登山届を作成・提出できるシステム、そして道迷いを防げる登山地図アプリ「ヤマレコ」を提供しています。

各都道府県および警察とは、山岳遭難防止・救助組織への寄付、地図上で過去の遭難場所や危険箇所を登山者に知っていただく「山岳遭難マップ」、そして登山道の難易度を示す「山のグレーディング」の周知など、関係する組織とも協力して安全登山の推進を行っています。



会員メンバーでの清掃登山

(**猪熊**) 安全登山のためには、登山前にリスクを想定することが重要です。具体的には、荒天の予想、地形図からの危険個所の想定、計画作成に役立つ登山記録がそれにあたります。また、登山中には読図能力や観天望気の技術が安全登山に役立ちます。そして、登山計画の提出、山岳保険の加入は、万が一のときに捜索活動を迅速に効率的におこなううえで大切です。それら安全登山における3つの柱に欠かせないサービスを提供する3社がタッグを組んで、それぞれの立場から安全登山の啓蒙をおこなっています。

(**チーム安全登山**) 各社サービスの他、共同で開催するイベントや講習会も人気です。会員メンバーみなさんの学びに対する向上心が高いことを感じています。

—会員メンバー向けの学びの場を提供していますがどのような内容が教えてください。

(**チーム安全登山**) 会員メンバーは雲から山の天気を学ぶ「観天望気」の記事や、ヤマレコに登録された遭難に関する記録を読むことができます。事前にこういった知識やヒヤリハットを学んでおくことが、遭難防止に役立つと考えています。



チーム安全登山主催の講習会

—有料会員は山岳保険が付帯され、登山計画書を提出すると補償範囲が広がるようですが、計画書の提出状況は如何でしょうか。

(**井関**) チーム安全登山には有料会員と無料会員があります。有料会員の登山計画書提出者には最大1000万円(業界最高)の給付が受け取れる山岳保険が付帯します。保険金請求時の計画書の提出率は約95%とかなりの方が提出されています。

「日帰り低山登山の山岳遭難増加を危惧」(井関)

—コロナ禍で山岳業界の環境や登山スタイルも変化していますが、今後の展開をお聞かせください。

(井関) 日帰りでの低山を楽しむ人が増え、同時に山岳遭難も増えています。日帰り登山者層へも山岳保険加入を周知ができるようにしていきたいと考えています。

(的場) 「一人ひとりの登山を最高の体験に」という弊社のミッションの一環として、登山の舞台となる山を深く知り、自分なりの楽しみ方を見つけられるようなコンテンツも提供していければと思います。

(猪熊) 登山の楽しみは多岐にわたります。空を眺め、雲を愛でることもそのひとつ。安全登山にも欠かせない、雲を見る楽しみを「空の百名山」の連載や、それを選ぶ際の山行、チーム安全登山のイベント等で広く伝えていきたいです。

「雲を見る楽しみ(空の百名山)も登山の楽しみ」(猪熊)

—各位それぞれお薦めの登山ルート・絶景ポイント、山の楽しみ方を教えてください。

(井関) 山小屋でお酒を飲みながら過ごす時間が好きなので、山小屋が多い北アルプス、八ヶ岳、南アルプス北部等のメジャールートに行くことが多いです。その他にはイベント等で地方に行ったら、できるだけその地方でよく登られている山に登っています。

(的場) 槍ヶ岳や穂高岳などの北アルプス南部の展望が楽しめる蝶ヶ岳と常念岳を登るルートがおすすめです。さらに健脚な方なら、鉢伏山(北アルプスの眺望)～三峰山(360度の眺望)～八島湿原(散策)まで抜けるルートはいかがでしょうか。

単調な登りや下りなど、登山の際に発生する「ただ目的地まで歩くだけの時間」、私はその時間をアイデア出しや思考を整理する時間として使っています。思考が整理できたり思いついたことがあれば、自分宛てのメッセージを送って蓄積すれば、登山を楽しむついでに思考も整理されて一石二鳥！ たまにはそんな時間の使い方をするのはいかがでしょうか。

(猪熊) 夏山では、柵池自然園～小蓮華山(空の百名山)～白馬大池～蓮華温泉ルートがお勧めです。池に映る雲を眺めたり、夏のお花畑や秋の紅葉を愛でながら散策、幕営ができる白馬大池をベースに、雲海を見下ろす稜線と山奥の秘湯が楽しめるコースです。冬山では、戸隠スキー場～飯綱山(空の百名山) 往復ルートで、山頂からの絶景と都市近郊の割に雪が豊富でスノーハイキングを楽しめるコースです。

山の楽しみ方として、空を見て深呼吸したり、雲が語ってくれる様々な声なき声に耳を傾けたりしています。山は雲を観察したり、学んだりする最高のフィールド。そして雲は、見えない空気の状態を伝えてくれる“空の翻訳者”です。

―思い出深い山行(山旅)またはヒヤリハットをお聞かせください。

(井関) 思い出深いのは、特段登山に興味がなかった頃に、山岳保険の仕事で初めて北アルプスを歩くことになった涸沢フェスティバルです。街中ではそれなりに体力には自信があったのですがヘトヘトになってしまい、そこから筋トレとランニングでダイエットするいいきっかけになりました。

(的場) 社会人になるまでは夏山経験しかなく、同じく冬山未経験の友人と2人でチャレンジした冬の鳳凰三山です。アイゼンとピッケルを持って2人で必死に歩いたのですが、雪深い場所での登山経験がなく歩みがなかなか進まず、友人の気持ちが折れたこともあり、途中で敗退しました。この登山で「経験豊富な先輩から指導を受けないとダメだ」と危機感を持ち、社会人山岳会に入ることを決めました。この経験がなければ、ヤマレコを作るきっかけになった山岳会に入ることもなく、ヤマレコを作ることもなかったと思います。

(猪熊) 書籍、HPなどに沢山出ていますが、やはり大学3年のときの冬、富士山で旋風に飛ばされて250m滑落した事故ですね。着の身着のままのビバークで、突風と寒さ、痛みを耐えながら過ごした24時間は今も忘れられません。開放性の粉碎骨折で重度の凍傷を負いましたし、12年後にはその怪我が元で慢性骨髓炎になり、その後の人生にも大きな影響を与えました。おかげで今、山岳気象予報士になれましたが。

「登山に役立つアプリやネットサービスも日々進化中、積極的に活用を」(的場)

―本誌読者の登山者が安全に山を楽しむために、ぜひアドバイスをお願いします。

(井関) 3社のサービスを活用していただければ、楽しく安全登山の準備が出来ると思いますので、宜しくお願いします。

(的場) 安全登山に役立つ情報は世界中から日々発信されており、登山に役立つアプリやネットのサービスも日々進化しています。ぜひこれらの情報やサービスを積極的に活用し、安全に登山するための学びを継続していただきたいと思います。

(猪熊) 山やルートを選定など、計画段階から登山はスタートしています。計画段階での登山リスクの想定に3社のサービスをぜひ、お役立てください。

「一人ひとりの登山を最高の体験に」がミッション(的場)

―山岳業界を応援し、安全登山を会員制で行うプロジェクト「チーム安全登山」を運営する井関さん、的場さん、猪熊さんに安全登山を熱望する想いをお聞きしました。安全登山のためにリスクを想定し万全な情報収集を登山計画書に反映して、余裕をもって信州の山岳を安全に楽しみましょう！